



森山明子 Jun-ichi ARAI: The Dream Weaver 新井淳一——布・万華鏡

……あらゆる文化遺産のうち、染織品ほど豊かなものはない。布ほど暖かなものはない。
人が生まれてから死ぬまでの間、包みこむ肉体に宿る思想を育みつづけてきた……

……確かに人は夢みて来た。
これからも夢みるであろう。
夢みることほど人を人たらしめてきたことはない……
……なべてゆめはうえとかわきのものがたり……

ファッションの裏方だったひとりのテキスタイルプランナーが 50歳、一夜にして世界の檜舞台に立った。桐生の機屋の三代目として生まれ、1970年代末からコンピュータを駆使していた新井淳一がその人だ。

1987年に英国王室芸術協会から日本人では3人目の名誉会員（Hon. R.D.I.=ロイヤル・デザイナーズ・フォー・インダストリー）に選ばれ、1992年には国際繊維学会が日本人初のデザインメダル（テキスタイルデザイナー勲章）を授与。その前後から世紀をまたいで、世界各都市での個展、企画展、ワークショップ、講演は枚挙にいとまがない。

「……新井淳一は文字通り、未来を紡ぐ布のフューチャリストと言えるでしょう。彼はその素材と効果もたらす限りなく未知なるものへの挑戦を繰り返し、私たちははじめて目にする神秘なるものに圧倒されるのです。」

「ドリーム・ウィーパー」（夢を紡ぐ人、夢織人）と形容されるこうした世界的評価は驚くに値する。使い手にすれば「布の詩人」、同業者から見れば「織物の魔術師」、アート・デザイン界にとっては「ポスト・インダストリアル・クラフトマン」。——これらが新井の見え方でもある。

実際、新井は万華鏡のごとき多彩な顔をもっている。ファッションの伴走者、発明家、民族衣裳蒐集・研究家、教育・伝道者、エッセイストという五つの顔だ。六十年に及ぶ膨大な自作コレクションと民族衣裳の蒐集品、四百本に迫る新聞・雑誌連載のエッセー、国内外の媒体で書かれた多数の記事を有する新井の足跡をたどれば、アートとデザインをまたぐ世界の布の戦後が一望できそうだ。

……複雑な組成と独特の風合いをもつ「新井淳一というテキスタイル」を、その作品とテキストを通して、わずかばかりでもほどこいてみたいと考えている。

（プロローグより）

新井淳一——布・万華鏡

2012年3月発行

著者 森山明子

A5判・上製・320頁（カラー8頁/図版175点）

本体4200円＋税

発行：美学出版 ISBN 978-4-902078-30-5

【目次】

プロローグ

第一章 ファッション・素材の時代に

第二章 テクノロジストの思考回路

第三章 精神の拠り所としての民族衣裳

第四章 桐生人として

第五章 「ドリーム・ウィーパー」アジアを行く

第六章 エッセイストとしての顔

第七章 来たるべきデザイナー

エピローグに代えて

新井淳一年譜・書誌

著者略歴

森山明子 MORIYAMA Akiko デザインジャーナリスト、武蔵野美術大学教授

◎1953年新潟県生まれ。1975年東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。特許庁意匠課審査官、「日経デザイン」編集長などをへて1998年から現職、デザイン情報学科所属。NHKハート展詩選考委員、グッドデザイン賞審査副委員長、芸術工学会副会長・名誉理事をつとめる。

◎近著には『カラー版 日本デザイン史』（共同監修・共著、美術出版社、2003年）、『魔の山中川幸夫作品集』（編集、求龍堂、2003年）、『まっしぐらの花——中川幸夫』（単著、美術出版社、2005年）、『Gマーク大全 グッドデザイン賞の五〇年』（監修・共著、日本デザイン振興会、2007年）、『石元泰博——写真という思考』（単著、武蔵野美術大学出版局、2010年）など。

注 文 書

全国の主要書店・美術館にてお求めいただくか、直接小社にメール、FAX等でお申し込みください。

森山明子 著 『新井淳一——布・万華鏡』を 冊申し込みます。 ISBN 978-4-902078-30-5

ご氏名	Eメール
ご住所（〒 - ）	
お電話	FAX

*ご入金を確認後、直送いたします。（送料は当方負担）

*ゆうちょ銀行019店（当座）0418568 美学出版 *銀行振込みをご希望の方はお問い合わせ下さい。

美学出版

Tel. 03-5937-5466 Fax. 03-5937-5469

URL <http://www.bigaku-shuppan.jp>

E-mail: info@bigaku-shuppan.jp